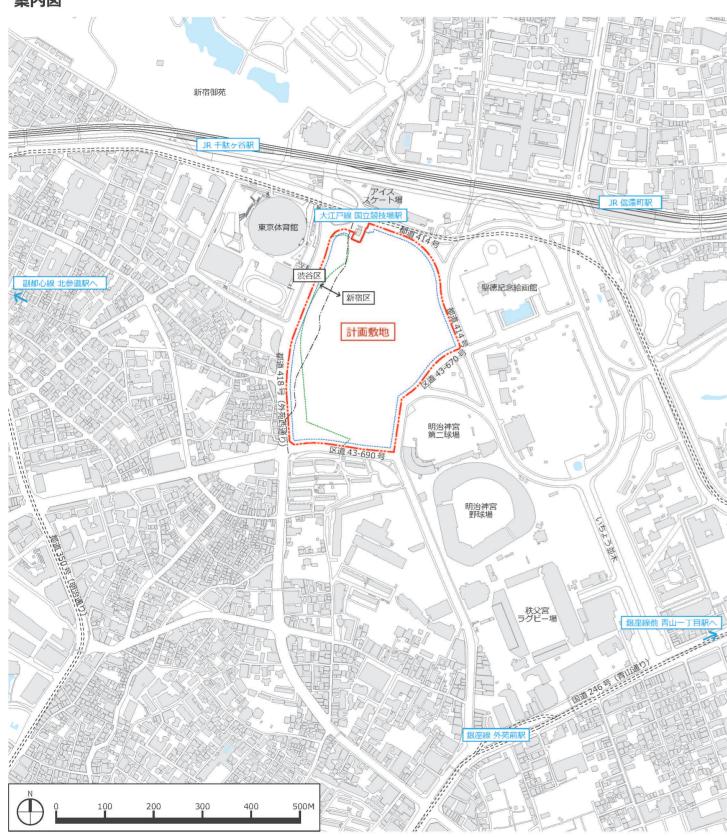
第60回新宿区景観まちづくり審議会 [報告3]資料

付近見取り図

■ 敷地・立地条件

案内図



項目	内 容			
所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町10番1ほか 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目15番1ほか			
敷地面積	113,039.62m ²			
道路幅員	西側:東京都道418号北品川四谷線 (約22m) 南側:特別区道43-690号 (約20m) 東側:特別区道43-670号 (約15m,18m) 北側:東京都道414号四谷角筈線 (約22m)			
地域・地区	用途地域:第二種中高層住居専用地域 風致地区:第二種風致地区(明治神宮內外苑風致地区) 文教地区:第一種文教地区 防火指定:準防火地域 高度地区:第二種高度地区			
指定容積率	200%			
建ぺい率	70% (10%角地緩和込)			
地区計画	神宮外苑地区地区計画 (再開発等促進区を定める地区計画) 計画容積率: 250%			
都市計画公園	第5・7・18号明治公園			
建物等最高高さの限度	75m			
日影規制	明治神宮外苑アイススケート場側及び聖徳記念絵画館側: 3.0時間-2.0時間 (測定水平面+4.0m)			
避難場所	広域避難場所			

上位計画等-1

■ 東京都策定の上位計画

東京の都市づくりビジョン (平成21年7月改定版)

基本理念: 「世界の範となる魅力とにぎわいを備えた 環境先進都市東京の創造」

センター・コア再生ゾーン

- ④西部エリア代々木公園・神宮外苑地区の将来像
- ・代々木公園、新宿御苑、神宮外苑、赤坂御用地など、都心の大規模 公園などを生かした緑の軸が形成され、迎賓館、絵画館などを中心と する風格のある景観を背景に、ジョギング、サイクリング、散策、周辺の カフェや店舗など、楽しみのある、緑豊かで快適な空間を形成



鉄軌道 ■ 公園·緑地等

センター・コア再生ゾーンの地域像

東京都景観計画 (平成28年1月改訂版)

新宿御苑景観形成特別地区

- 1) 景観形成の方針
- ・庭園内からの眺望を阻害しない周辺景観の誘導
- ・屋外広告物の規制による景観保全
- 2) 対象区域
- ・庭園の外周線からおおむね100mから300mまでの範囲

新宿御苑 (文化財庭園等) の眺望の保全に関する景観誘導

- 1) 眺望地点
- ・庭園の作庭上、重要な視点場として設計された場所
- ・眺望地点から事業地を眺望したシミュレーションを作成し、庭園内からの見え方について 検討

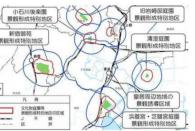


・庭園の外周線からおおむね1kmまでの範囲

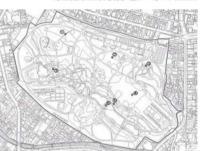
聖徳記念絵画館:眺望の保全に関する景観誘導

目自

我が国の近代化の過程で、首都東京の象徴性を意図して造られた建築物は、その周辺を 含め、今日も風格ある景観を形成している。これらの建築物を中心とした眺望が保全され るよう、当該建築物の周辺で計画される建築物等の規模、色彩等を適切に誘導する。



景観形成特別地区等の位置



新宿御苑の眺望地点



2020年に向けた東京都の取組 (平成27年12月版)

テーマ②: 「大会を機に、スポーツが日常生活にとけ込み、誰もがいきいきと豊かに暮らせる東京を実現」

・道路、遊歩道、公園等を、手軽に楽しめるウォーキング・ランニング・サイクリングコースなど、身近なスポーツの場としても活用できるよう取組を 推進する。

テーマ⑥:「環境に配慮した持続可能な大会を通じて、豊かな都市 環境を次世代に継承」

- ・競技会場周辺等の道路で植栽帯に花壇を設けるなど、都民や観光客 等が快適で美しいと実感できる花と緑を生かした緑化を進める。
- ・競技施設周辺等で、在来種等の生態系に配慮した植栽を推進するな ど、様々な主体と連携して緑を量的・質的に充実させる。

東京の資源を最大限に活用



水の軸













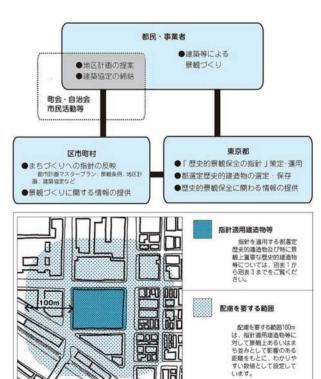
歴史的景観保全の指針 (平成20年3月改訂版)

目的

- 1) 歴史的景観の価値を理解し、将来に伝える
- ・歴史的な建物などの眺望を遮らないようにする
- ・歴史的景観の調和を大切にする
- 2) 魅力ある歴史的なまち並みを創る、育てる

指針適用建造物等

- ①都選定歷史的建造物
- ②文化財指定により選定解除された歴史的建造物
- ③特に景観上重要な歴史的建造物等
- •明治神宮聖徳記念絵画館は、②に該当
- ・歴史的景観への配慮を要する範囲は、指針適用建造物等の壁面 (庭園等は敷地の境界)から100mの範囲内



上位計画等-2

■ 新宿区策定の上位計画

新宿区都市マスタープラン

「暮らしと賑わいの交流創造都市」

計画敷地 信濃町駅周辺 七つの都市の森、水とみどりの環

生活交流の心 . . . 外苑西通り・東通り . . . 都市活動軸

・七つの都市の森

明治神宮外苑周辺のまとまったみどりの積極的な保全・拡充を促進

明治神宮外苑のみどりを位置づけ新宿御苑や外濠等と連続する、水に親しめる空間や自然を感じることができる緑の骨格を形成

四谷地域まちづくり方針

•みどり・公園

新宿御苑から明治神宮外苑、外濠に至る歩行系幹線道にお ける街路樹の充実等を行い、区民と協働でみどりの創出を図

公園の再整備にあたっては、公園利用者のニーズを把握 し、地域の実情にあった公園整備を進める

都市アメニティ

スポーツ拠点を活かしたまちの活性化 国立競技場や神宮球場などのスポーツ施設を、地域の活性 化に結びつけることを検討。



新宿区景観まちづくり計画 (平成28年3月改定版)

目標:まちの記憶をいかした 「美しい新宿」をつくる

・新宿区の持つ自然をいかし、歴史的風土や自然環境と調 和した景観を守り、育んでいくことを、地域が主体で取組め るようなしくみをつくる



景観計画の区域と区分地区

良好な景観の形成に関する方針

- 1)変化に富んだ地形をいかす
- 2) まちの記憶をいかす
- 3) 水とみどりをいかす

■ §	建築物の建築等					
届出対象行為		建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若 しくは模様替又は色彩の変更				
届出	比対象規模	建築物の高さ>10m 又は延べ面積>300 ㎡				
	形態・意匠					
景観形成基準	その他	○敷地内に歴史的な建造物や残すべき自然などがある場合は、積極的にこれらをいかす。 ○隣接する建築物の壁面等の位置を考慮した配置とする。 ○附帯する設備等は、建築物と一体的に計画するか、歩行者や水平方向からの見え方に配慮し、緑化や目隠しなどによる修景を行う。 ○附帯する構造物や施設等は、建築物との調和を図るとともに、歩行者からの見え方に配慮した修景をする。 ○外構は、敷地内のデザインだけでなく、隣接する敷地や道路など、周辺景観との調和を図る。 ○敷地内はできる限り緑化を行う。 ○皮間の景観に配慮し、周辺の景観に応じた照明を行う。 ○ビル名や店名等の自家用広告物、第三者広告物等の屋外広告物の掲出については、建築物の設計の早い段階から、周辺景観や建築物等へ配慮する。				
	ごし、建築物の高さ こする。	> 60m 又は延べ面積>30,000 ㎡の場合は、下記の景観形成基準を加えるも				
	形態意匠	○色彩は、別表3の色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。				
景観形成基準	その他	○隣接する敷地や公共施設と一体となったオープンスペースを新たに創出するなど、周辺景観に配慮した配置とする。 ○壁面の位置の連続性や、適切な隣様間隔の確保など、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ○周辺の主要な眺望点(道路、河川、公園など)からの見え方に配慮するとともに、周辺の建築物のスカイラインとの調和を図る。 ○緑化にあたっては、生態系にも配慮した樹種の選定を行うとともに、積極的に屋上や壁面の緑化を行う。				

一般地域の景観形成基準

新宿区景観形成ガイドライン (平成27年3月改訂版)

景観形成の目標(神宮外苑・南元町エリア) 「神宮外苑の広大な眺めと豊かなみどりに囲まれたまちなみへ」

景観形成の方針

- 1) 聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを、将来に渡って継承する
- ・広場を取り囲む既存樹木を保全する
- 広場からの眺めに配慮した形態意匠とする
- ・色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける
- 2) 住宅地から、周辺を包み込む神宮外苑や赤坂御所のみどりを眺められるよう配慮する

形態意匠の景観形成ガイドライン

- 1) 周辺景観と調和した形状・デザインとする
- 2) 周辺景観と調和した素材・色彩を選ぶ
- 3) 景観上重要な要素に配慮する

みどりの景観形成ガイドライン

- 1) 既存樹木は残す
- 2) 土地にあったみどりを創出する
- 3) さまざまな方法で多様な樹種を用いる
- 4) 四季を感じるみどりを創出する
- 5) まちのためのみどりをデザインする



神宮外苑・南元町エリアの景観特性

上位計画等-3

■ 渋谷区策定の上位計画

渋谷区都市計画マスタープラン

「創意あふれる生活文化都市 渋谷 一自然と文化とやすらぎのまち一」

- 安心してすこやかに暮らせるまち
- ・いきいきと創造的な活動が行われるまち
- •様々な活動を支え地球環境と調和するまち

千駄ヶ谷・神宮前地域まちづくり方針

便利で快適な都市型住宅地

みどりと水・潤いのあるまちづくり方針

〈みどりの拠点づくり〉

・みどりの大拠点の保全

明治神宮から代々木公園の一帯並びに新宿御苑を、渋 谷区の緑の中核となる大拠点として位置づけ、適正な管 理を図り、その保全と利用増進を図る。

わばせの高い都市並出せせまた します。 まちの特徴を活かした活気ある 体の大通り(構想)、情語機 よれい選集機をおけてよれ

・教育・文化機能との調和と住機能との共存 配慮した奄里・更新機能の立地を図ります。

渋谷区景観計画 (平成25年3月版)

目標:多様な界わいが共存する都市の保全・再生・創造

・自然、歴史、文化の継承と、新たな景観の創出の調和

景観形成の方針

- 1) 地形の特性を活かした景観形成
- ・坂や、旧河道の緩やかに曲がる地形を生かした景観を形成
- 2) 緑、河川等の自然の特性を活かした景観形成
- ・大規模緑地を拠点とし、水辺の再生や緑化などにより、ゆとりと潤いのネットワークを形成
- 3) 歴史・文化の特性を活かした景観形成
- ・江戸時代から継承される街割りや、文化財など、歴史的資産を活かした景観を形成
- 4) 都市における賑わい・交流空間の特性を活かした景観形成
- 5) 住民主体の取り組みを活かした景観形成



(1)	・形態態匠は、建築物単体だけでなく、周辺の建築物や景観資源等との調和に配慮する。 ・返道など地形の変化のある場所では、外構及び低層部のデザインにそれを活かす工夫を オスタートラインにより、 ・大きなど、 ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・大きな ・たな ・たな ・たな ・たな ・たな ・たな ・たな ・					
	する。 ・財帯する設備等は建築物と一体的な形態意匠とするか、目隠し等により修景を行うなど、 私館さの軽質に努める。					
その他の 意匠	②色彩 ・公園や緑道周辺など、緑が景観の構成要素として重要な場所では、緑との調和に配慮する。 ・外壁、建築物に関帯する設備、屋根の色彩は、表-7 (P.89)の色彩基準に適合するとともに、周辺景観との調和を図る。					
(2) 配置	 周辺からの見え方に配慮し、威圧感、圧迫感の軽減に努める。 隣接する建築物群、オープンスペースとの連続性の確保に努める。 敷地内に残すべき景観資源などがある場合は、これを活かした建築物の配置とする。 					
(3) 高さ	高さ・規模については、周辺からの見え方に配慮し、外構や低層部のデザインの工夫等を含め、街並みとの調和を図る。					
(4) 壁面の 位置	・壁面の位圏の連続性など、周辺の街並みに配慮した配臘とする。					
(5) 緑等	 緑化の際は、周辺の縁との連続性を考慮し、継続的な維持管理が可能な樹種の構成、樹木の配置とする。 外構計画は、隣接する敷地や道路など、周辺景観との調和に配慮する。 照明を行う場合は、周囲の環境や夜間の景観に配慮し、周辺の街並みと調和したものとする。 					

一般地域の景観形成基準

渋谷区景観形成ガイドライン (平成25年3月版)

景観形成の方向と考え方 (千駄ヶ谷・神宮前地域)

- 1) 地形
- ・坂等を活かし、地形の変化を感じ ることができる景観を形成
- ・旧渋谷川遊歩道においては、旧 河道のゆるやかな線形を継承
- 2) 緑、河川等の自然
- ・新宿御苑等大規模な緑地を緑の 拠点として、街中の緑がつながる 景観を形成
- •新宿御苑からの広がりのある眺め を保全
- ・新宿御苑周辺において、緑景観と 調和した落ち着きのある景観を形成
- 3) 歷史•文化
- ・鳩の森神社周辺の寺院等が 集積する歴史的景観を保全
- 4) 都市における賑わい・交流空間
- ・旧渋谷川遊歩道沿道など、歩い て楽しい、賑わい景観の魅力向 上を図る

◆緩やかな曲線を構き、変化のある景観をあ 地域の景観を成に進かす

高額をもひれてまるながお申

【履わい・交流】 ・渋谷区の額となる程品の養穀の程成◆多様な評議、地新を維持・職業しつつ Manacar 🔘

〇 60000RE-東西田の

【区民等の取り組み】 一 設定するづくり協 ② 地区計画区域

◆水造の再生、養銹板・両同、住宅・ビルの輸化などによる ゆとりと思いのネットワークの軽減

【経・河川等の自然】

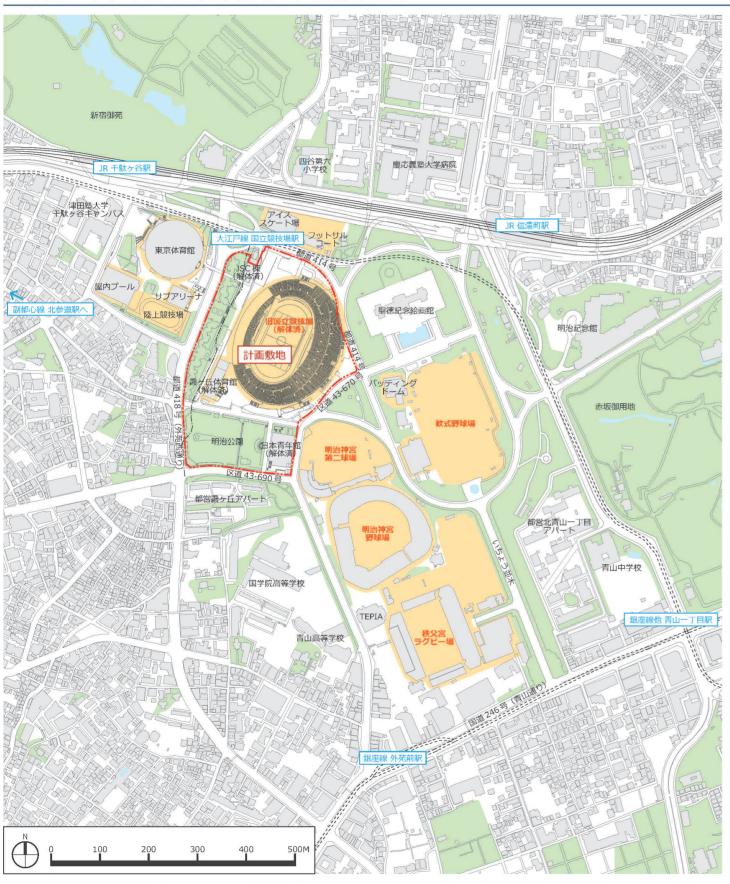
間のまり外・ Mのまり間 石材化用・ 配





一般地域の景観形成基準

■ 周辺エリアの土地利用状況と地区整備の方針



明治神宮外苑周辺の土地利用状況

- ・当地区は、新宿区霞ヶ丘町、渋谷区千駄ヶ谷・神宮前、港区北青山の3区にまたがり、新宿御苑や赤坂御用地に隣接する。地区周辺にはJR中央線や地下鉄、南側には青山通りが通り、交通の便も良い。
- ・地区の大きな部分を占める明治神宮外苑は、明治天皇と昭憲皇太后のご遺徳を永く後世に伝えるために、全国国民からの寄付金と献木、青年団による勤労奉仕により、聖徳記念絵画館や憲法記念館(現明治記念館)などの記念建築物と、旧国立競技場・神宮野球場・秩父宮ラグビー場などのスポーツ施設が造成された。その後、軟式球場・テニスコート・ゴルフ練習場・アイススケート場などの施設が建てられ、市民のスポーツ施設として広く親しまれている。
- ・西側の東京体育館は、旧国立競技場とともに昭和39年の東京オリンピックの会場として利用され、その後もスポーツ施設として利用されている。平成2年にリニューアルされ、平成24年7月から平成25年1月にかけて改修工事が行われた。
- ・地区の北側および西側は主に中低層の住居系エリア、外苑西通り及び青山通りの沿道地区は商業・業務の複合エリアとなっている。

地区整備の方針

- ・当地区は、大正期に整備された神宮外苑の都市構造を基盤として、風格のある都市景観と苑内の樹林による豊かな自然環境を有している。また、昭和39年の東京オリンピックの主会場となった旧国立競技場をはじめとした日本を代表するスポーツ施設が多く集積し、国民や競技者がスポーツに親しむ一大拠点を形成している地区であり、「2020年の東京」計画(2011年12月策定)において、「スポーツクラスター」として集客力の高い、にぎわいと活力のあるまちの再生が方向づけられている。
- ・今後、新国立競技場の建設を契機として、地区内のスポーツ施設等の建替えを促進し、国内外から多くの人が訪れる世界的競技大会の開催が可能となるスポーツ拠点を創造する。また、神宮外苑いちょう並木から聖徳記念絵画館を正面に臨む首都東京の象徴となる景観を保全するとともに、神宮外苑地区一帯において、緑豊かな風格ある景観の創出、バリアフリー化された歩行者空間の整備など、成熟した都市・東京の新しい魅力となるまちづくりを推進する。

スポーツ施設

緑地・オープンスペース

■ 歴史・自然の分析

緑のネットワーク

- ・計画地は、江戸時代は大名の屋敷であった敷地を中心とした大規模緑地に囲ま れた、都心でも緑に恵まれた立地です。
- ・大規模緑地には多様な生物が生息しており、計画地はこれらを繋ぐ緑のネットワー クを形成する上で重要な場所となっています。



計画地周辺広域の緑のネットワーク (出典)World View 2撮影日:2012.04.07

失われた水のネットワーク - 渋谷川

- ・玉藻池(新宿御苑)や玉川上水を水源とし、農業の他、水車にも利用された川で した。支流の河骨川は唱歌『春の小川』の原風景と言われています。
- ・計画地付近では新宿区と渋谷区の境界を流れていましたが、前回のオリンピック 時に暗渠化されました。



かつての渋谷川の流路 (引用)区制70周年記念 図説渋谷区史、渋谷区、2003

計画地に適した自然植生

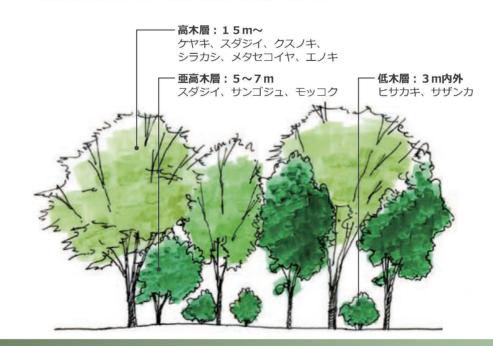
・計画地の気候風土に適した潜在自然植生はスダジイーヤブコウジ群集です。計画 地周辺の代表的な代償植生としては、コナラークヌギ群集等のコナラ林が考えら れます。



潜在自然植生図 (出典)植生調査報告書 昭和62年3月 付表 東京都の植生、東京都環境保全局自然保護部、1987

計画地に隣接する明治神宮外苑の緑地

- ・隣接地には、ケヤキやスダジイ、クスノキの森の他、ヒマラヤスギ林など様々なタ イプの緑地が存在しています。
- ・既存緑地と調和のとれた緑地環境の形成が重要です。



明治神宮外苑の造営時の思想

- ・荘重な杜の内苑に対して、明治天皇を偲ぶ明朗な記念園、現代的庭園として、 国民からの寄付、献木、奉仕活動等で整備されました。体力向上や心身の鍛錬 場として、スポーツ施設が奉献されています。
- •中央に芝生広場を配し、外周部に向かって緑が濃くなる、緑に囲まれた構成でした。



初期の明治神宮外苑 (引用)明治神宮外苑志、明治神宮奉賛会、1937

■ 地形・街並みの分析

地形

計画地西側の都道(外苑西通り)は旧渋谷川によって形成された谷地形に沿って走っています。通りを挟んで西側(東京体育館側)と東側(聖徳記念絵画館・明治神宮球場側)とは約8mの高低差があり、敷地周辺の景観に変化を与えていますが、同時に東京体育館と明治神宮球場側とをつなぐ際のバリアとなっています。

東京体育館 大江戸線 国立競技場駅 東京体育館 屋内プール 東京体育館 聖徳記念絵画館 計画敷地 建国記念 文庫 明治神宮 第二球場 TP+30.1 明治神宮 野球場 周辺レベル/写真キープラン

街並み

- ・計画地西側の都道418号(外苑西通り)は通りの南北で景観が大きく異なります。北側は東京体育館等のスポーツクラスターの一角があり大規模施設が並びます(②、③)。南側はオフィスビルや商店等の中、小規模のビルが建ち並ぶヒューマンスケールな景観(①)となっていますが、南北とも街路樹により緑化が図られています。
- ・計画地北側・東側(都道414号)、南東側(区道43-670)は聖徳記念絵画館や建国記念文庫、明治神宮球場の敷地内における豊かな樹々により、緑あふれる景観が形成されています(④、⑤、⑥、⑦、⑧)。
- ・計画地南側(区道43-690)は現在、都営霞ヶ丘アパートが建っており、大きく成長した街路樹と相まって閑静な景観を形成しています(⑨)。将来的には公園が整備されることで、更に豊かな緑の景観が形成されることが見込まれます。



















7

■ 周辺建物の分析

周辺大規模施設

計画地周辺の大規模施設は比較的彩度の低い色彩となっており、外苑地区の豊な緑とともに落ち着きのある景観を形成していま す。神宮球場、神宮第二球場、秩父宮ラクビー場等、柱・梁の軸組を表したファサードデザインが多く見受けらます。



タイル 2.5PB 5/8 タイル 10YR 8/1 _ RC N9



③神宮外苑スケート場

- 花崗岩バーナー <u>10YR 8/1.5</u> ┌ 花崗岩バーナー ■ 10YR 7/1.5

- 塗装 □5PB 8/1

②東京体育館(サブアリーナ)

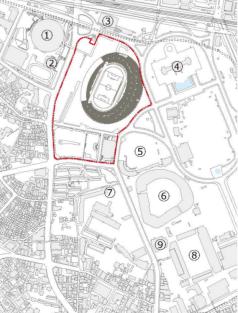
- 塗装 5Y 6.5/0.5

4聖徳記念絵画館

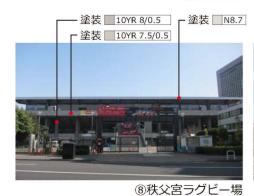
⑤神宮第二球場



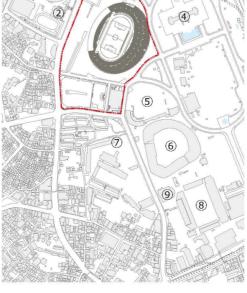












外苑西通り沿い

外苑西通りは一部彩度の高い商業施設が見受けられますが、全体的にはモノトーン系の色彩で景観が形成されています。横、 縦、グリッドと線で構成されたファサードの建物が多く見受けられます。



┌ サイディング □N9





⑩ビクター

⑪メールサンフェルノ

迎河出書房

⑬リベルテ青山





⑭松任谷ビル

®casaKIMI

ー アルミサッシュ □N8.2

- 塗装 N8.7 タイル 5R 9/0.5 - タイル ■ N4 ・熱反ガラス 🗔 ┌タイル 2.5Y 8.5/1



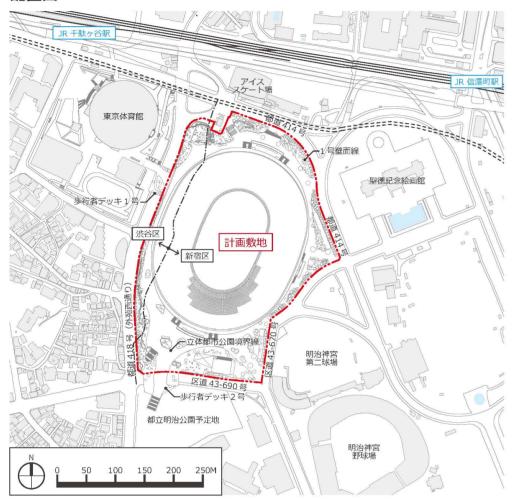
18草思社

⑩シャリエ神宮外苑

20千駄ヶ谷インテス

■ 計画概要

配置図



イメージパース



計画概要

項目	内 容
事業名称	新国立競技場(仮称)整備事業
建物用途	観覧場、自動車車庫、その他
建築面積	72,400 m ²
延べ面積	194,000 m ²
耐火種別	耐火建築物
建物高さ	49.2 m
階数	地上5階、地下2階
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
駐車台数	約 300 台

事業スケジュール

設計期間	平成28年1月~平成28年11月
工事期間	平成28年12月~平成31年11月

■ 都市計画等による計画条件

神宮外苑地区計画に基づく区域の整備方針

第5•7•18号明治公園の変更 (東京都決定)、及び神宮外苑地区地区計画 (東京都決定) に基づき、新国立競技場の建設と共に、区域公共施設の再編整備を図る。

東京都市計画公園の変更 (東京都決定)

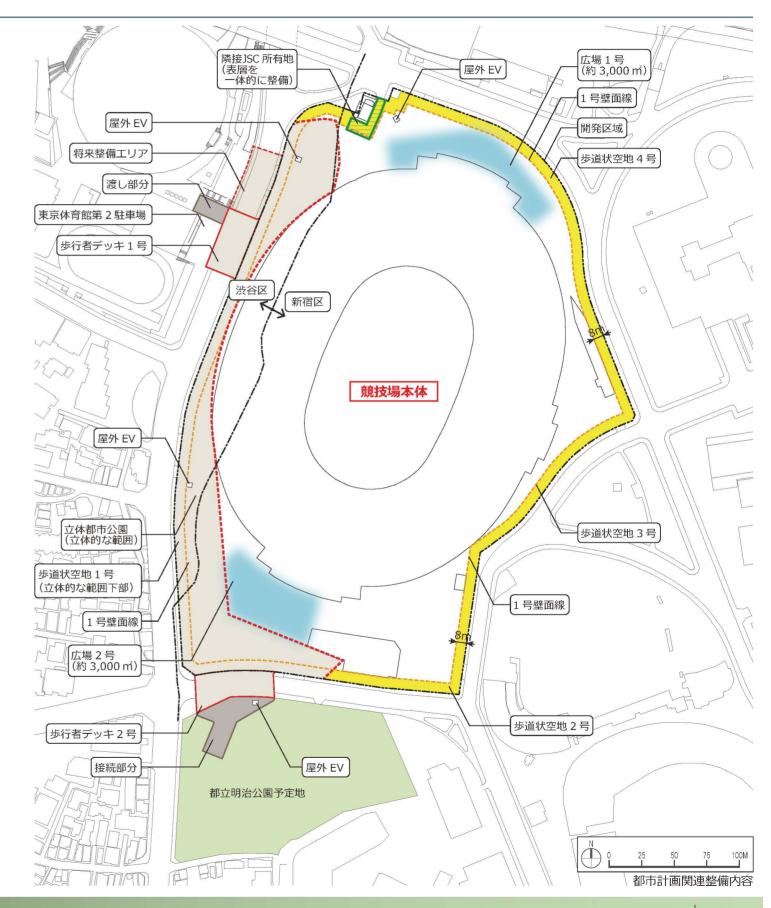
東京都市計画公園中第5・7・18号明治公園を次のように変更する。

	種別	名 称		位 置	面積	備考	
	1至 // 1	番 号	公園名		山 1兵	加 为	
	総合公園	第5・7・18 号	明治公園	港区元赤坂二丁目、北青山一丁目、 北青山二丁目、新宿区霞ヶ丘町、 大京町、南元町、渋谷区千駄ヶ谷 一丁目及び千駄ヶ谷二丁目各地内	約58.5ha	園路、広場、 修景施設等	
			新宿区霞ヶ丘町及び渋谷区千駄ヶ谷一丁目各地内において、立体的な範囲を 定める面積約1.8haを対象				

東京都市計画地区計画の決定(東京都決定)

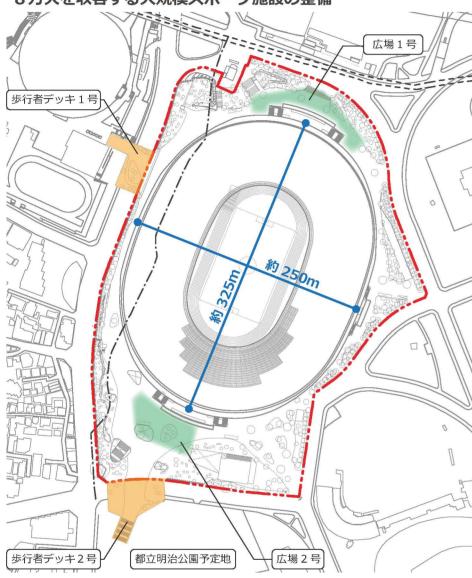
都市計画神宮外苑地区地区計画を次のように決定する。

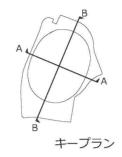
	土地利用に関す る基本方針	A-2地区 国立霞ヶ丘競技場の建替えとともに、公園及び道路等公共施設の再編整備を図る。世界に誇れるホスピタリティ豊かなスタジアム施設と一体となる快適で安全なオープンスペースの整備を図る。また、施設の屋内外において、災害時には帰宅困難者や避難者を受け入れるなど、地域の防災性の向上に資する防災拠点としての活用を図る。						
再開	→ m+\/\++セ症=ハ	種 類	名 称	幅員	延長	面積	備考	
発	主要な公共施設の配置及び規模	その他の	広場1号	_	_	約3,000㎡	新設	
再開発等促進区	0月10月10月1日	公共空地	広場2号	—	—	約3,000㎡	新設	
進		種 類	名 称	幅員	延長	面積	備考	
	地区施設の配置		歩道状空地1号	8m	約490m	_	新設(植栽を含む。)	
	及び規模	その他の	歩道状空地2号	8m	約190m	-	新設(植栽を含む。)	
	/X 0 /96/1X	公共空地	歩道状空地3号	8m	約250m	:	新設(植栽を含む。)	
			歩道状空地4号	8m	約320m		新設(植栽を含む。)	
地区整備計画	建築物等に関する事項	壁面の位置 の制限	A-2地区:1号壁面線(道路境界線から8m以上) 建築物の外壁又はこれに代わる柱は、次の各号の一に該当する建築物及びそれらに附帯する建築物の部分を除き、計画図に示す壁面線を越えて建築してはならない。 1)歩行者デッキ、階段、スロープ、コンコースなど円滑な交通ネットワークの形成に資する建築物等の部分及び公共公益施設等					
		建築物等の 高さの最高 限度	A-2地区:75m ただし建築基準法施行令第2条第1項第6号に定める高さとする。					
		建築物等の 形態又は色 彩その他の 意匠の制限	色調とする。				避け、周辺環境に配慮した 型の都市景観と調和のとれ	



■ 施設計画

8万人を収容する大規模スポーツ施設の整備

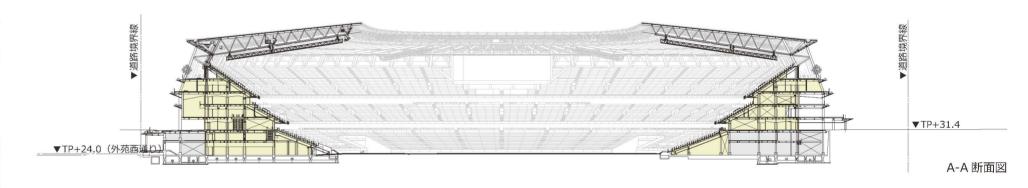






内観イメージ



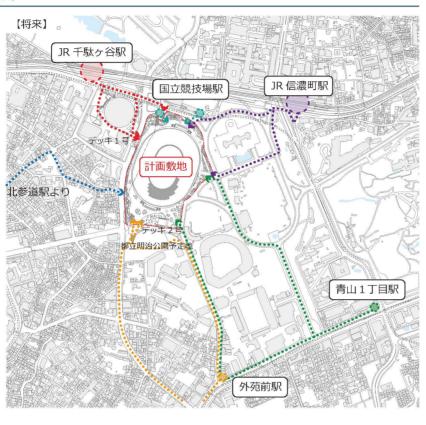




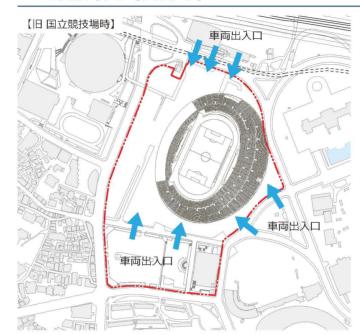
B-B 断面図

■ 動線計画(各駅からの歩行者動線)

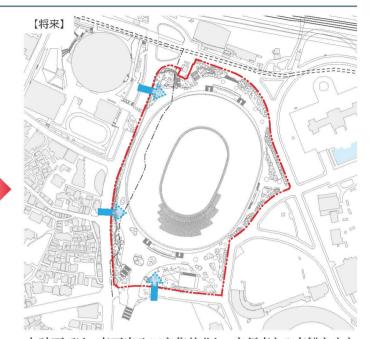
本計画敷地は、JR線・地下鉄線、計5線6駅からの 徒歩圏内に位置しており、敷地全周から様々な ルートを通り来場者が来ることが予想されます。



■ 動線計画(自動車)

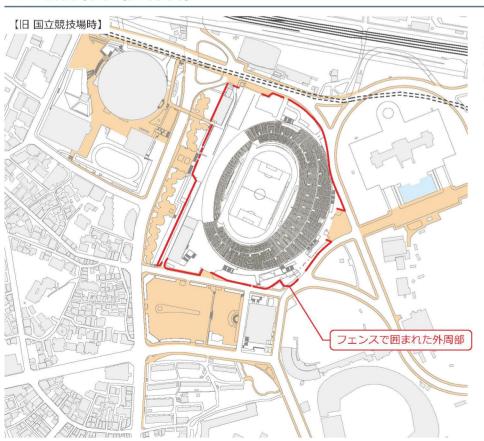


旧国立競技場は車両出入口が分散配置されており、周辺道路への負担と歩行者との交錯が課題となっておりました。

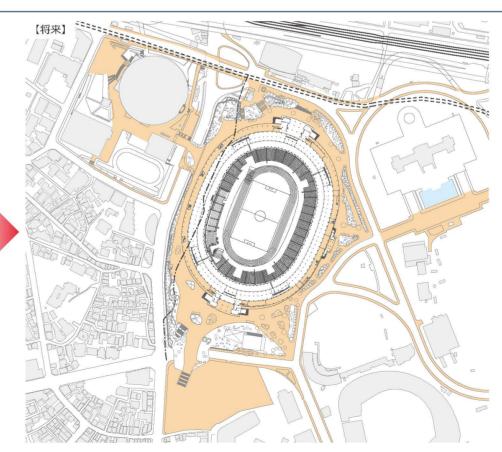


本計画では、車両出入口を集約化し、歩行者との交錯を少なくするとともに、車両は道路レベル、歩行者はペデストリアンデッキレベルとし、動線のレベルを変えることで歩車分離を図っております。

■ 動線計画(歩行者)



旧国立競技場は敷地周囲にフェンスが張り 巡らされ沿道空間に圧迫感を与えていること、また建物配置上ゲート空間(オープンスペース)が限られており、イベント時等における滞留スペースの確保に課題がありました。



本計画では、敷地周囲のフェンスを撤去し、日常的に敷地内を散策できるようにしたこと、また広がりとつながりを持ったオープンスペースを創出することで、敷地内外における回遊性、また、イベント時等の十分な滞留スペースを確保しております。

歩行者空間(オープンスペース)

上位計画から導かれる景観形成方針

上位計画における位置づけ

■スポーツ基本計画 【国H24.3】

・国立霞ヶ丘競技場等の施設の整備・充実等を行い、オリンピック・ワールドカップ等大規模な国際競技大会の招致・開催に対し支援する。

■2020年の東京【都H23.12】

・大規模スポーツ施設を中心としたさまざまな施設の集積(スポーツクラスター)により、集客力の高い、賑いあふれるエリアが生まれ、活力あるまちを再生。

■東京の都市づくりビジョン【都H21.7】

・代々木公園、新宿御苑、神宮外苑、赤坂御用地など、都市の大規模公園などを生かした緑の軸が形成され、迎賓館、絵画館などを中心とする風格のある景観を背景に、ジョギング、サイクリング、散策、周辺のカフェや店舗など、楽しみのある、緑豊かで快適な空間を形成。

■東京都景観計画【都H23.4】

・庭園の内部から見える建築物等を対象として、その配置や色彩などを適切に誘導し、庭園の持つ歴史的文化的景観を保全・継承する。

※庭園:新宿御苑

■パークマネジメントマスタープラン【都H27.3】

・《目標2》連続した緑の軸と拠点を設け緑の骨格を形成する

・《目標5》東京に風格を与える緑を創る

・《目標8》楽しさあふれる公園づくりを進める

■明治公園マネジメントプラン【都H18.12】

・周辺の歴史的施設や民間施設と連携を図り都心部のおける緑の拠点を形成する。

- ・都心部における緑や周辺の文化・スポーツ施設とのネットワークを図り都心部の魅力を高める。
- 発災時における避難場所としての役割を果たす公園としていく。

■新宿区都市マスタープラン【区H19.12】

・明治神宮外苑、新宿御苑のみどりを「水とみどりの環(わ)」と位置づけ、水に親しめる空間 や自然を感じることができる連続するみどりの骨格を形成。

・スポーツ拠点を活かしたまちの活性化

■新宿区景観まちづくり計画【区H27.3】

・変化に富んだ地形をいかす

まちの記憶をいかす

水とみどりをいかす

■新宿区景観形成ガイドライン【区H27.3】

・広場からの眺めに配慮した形態意匠とする

・色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける

・外壁の素材は、自然素材のものを使用する

■渋谷区都市計画マスタープラン

・みどりの大拠点の保全

明治神宮から代々木公園の一帯並びに新宿御苑を、渋谷区の緑の中核となる大拠点として位置づけ、適正な管理を図り、その保全と利用増進を図る。

■渋谷区景観計画 【区H25.3】

・大規模緑地を拠点とし、水辺の再生や緑化などにより、ゆとりと潤いのネットワークを形成

■渋谷区景観形成ガイドライン【区H25.3】

・坂等を活かし、地形の変化を感じることができる景観を形成

・新宿御苑等大規模な緑地を緑の拠点として、街中の緑がつながる景観を形成

•新宿御苑からの広がりのある眺めを保全

景観形成に関する方針

、 支景 市民に開かれた新しいスポーツクラスター拠点の整備

- ①周辺と調和するスカイライン
 - ・最大8万人収容を見据えたスタジアムをコンパクトに配置
 - ・外苑の杜と調和するスカイラインの形成
- ②周辺と調和するファサードデザイン
 - •圧迫感を低減する抜け感のあるファサードデザイン

中景 周辺環境に寄り添う緑に覆われたスタジアム

- ③周辺と調和する陰影とみどりのある外観
 - ・周囲の木々に溶け込む陰影と緑のあるファサード計画
 - ・みどりとみどりが織りなす杜の中の沿道空間
- ④周辺とつながる、 開かれた歩行者空間
- ・立体都市公園と歩道状空地の整備による歩行者ネットワークの拡充
- ⑤杜と杜をつなぐみどりのネットワークの形成
 - ・周辺の公園空間とつながる地上の緑化と建物緑化

近景 人びとが集い、憩う空間の創出

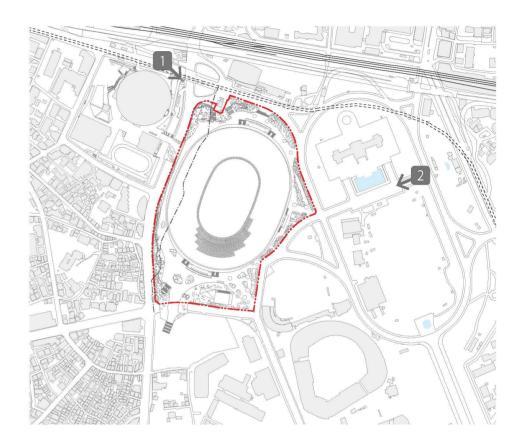
- ⑥さまざまな繋がりの生まれる施設計画
 - ・敷地高低差を利用し、光と風と視線が通う繋がりの生まれるスタジアム
- (7)人々が集い、憩う開かれたスタジアム
 - ・人と緑が重層的に連続する開かれた歩行者空間を創出
 - ・渋谷川の記憶を水景として再現し、立体都市公園と一体となったオープンスペースを創出

周辺と調和するスカイライン

■ 最大8万人収容のスタジアムをコンパクトに配置し、抜け感と陰影のあるファサードによって周辺と調和

最大8万人収容を見据えたスタジアムをコンパクトに配置し、外苑の杜と一体となった「杜のスタジアム」を実現します。





水平庇の重なりによる陰影と、柱梁の軸組みが表された抜け感のあるファサードによって、緑豊かな外苑の杜との調和を図ります。

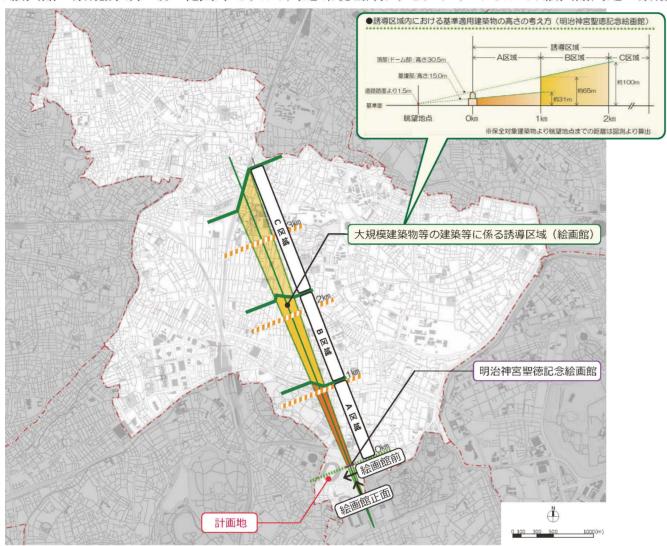




周辺と調和するスカイライン-明治神宮外苑-

■ 外苑の杜と調和するスカイラインの形成 -聖徳絵画館前からの景観シミュレーション-

本計画は絵画館の景観誘導区域の範囲外ですが、周辺環境と調和するデザインによって、絵画館周辺の景観への配慮を図ります。



大規模建築物等の建築等に係る誘導区域(絵画館)





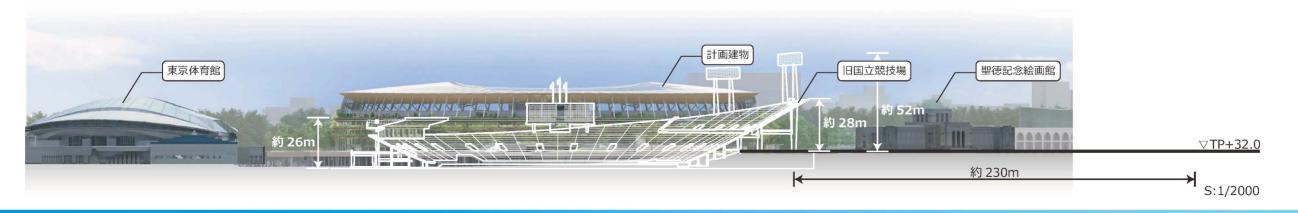
絵画館前からの景観イメージ





絵画館正面からの景観イメージ

キープラン

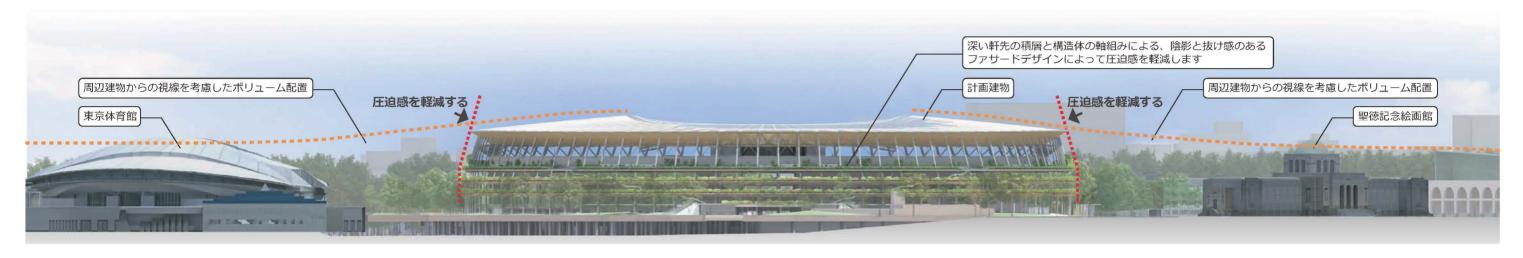


15

周辺と調和する陰影とみどりのある外観-1

■ 周囲の木々に溶け込む陰影と緑のあるファサード計画

- ・神宮の大地と親和性を高める水平庇の積層により、周辺の木々と調和する陰影のある、日本らしい外観を形成します。
- •周辺の緑と調和するよう外周の連続した軒庇に緑を配し、施設全体が一体となった公園空間となります。



- ・空の杜への屋外階段や、建物を取り囲むコンコースにより、建物内のアクティビティが表出され、エリアの賑いを創出します。
- ・南北の広場に面してメインゲート空間を設けます。大きく広がったエントランス庇が来場者を迎え入れます。
- ・軒裏を自然素材である木ルーバーで覆うことで、周辺環境と調和し、庇から生み出される陰影が建物に様々な印象を与えます。



南側外観

南側立面図

| 10

周辺と調和する陰影とみどりのある外観-2

■ 周辺の街並みに調和するファサード計画

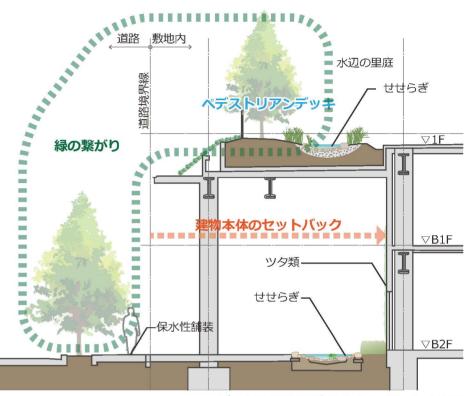


• 外苑西通り側

建物本体をセットバックし、敷地外周側を列柱空間とするとともに、ペデストリアンデッキ先端をシャープにすることで、建物を軽快に見せ圧 迫感の低減を図ります。

ペデストリアンデッキ先端及び、デッキ外周部を緑化することで、車道 レベルの街路樹と緑の繋がりを生むともに、建物のボリュームを極力感 じさせない計画とします。





デッキ下歩道状空地構成イメージ S=1/150

敷地周囲に8mの歩道状空地を整備することで、歩行者空間の拡充を図ると共に、歩道状空地に沿って緑化を行うことで、外苑地区全体との緑のネットワークの形成に寄与します。

 8mの歩道状空地の整備とともに、更に建物外周にオープンスペースの整備を行うことで、敷地境界から建物の離隔をとり、周辺環境への圧迫感の低減を行います。



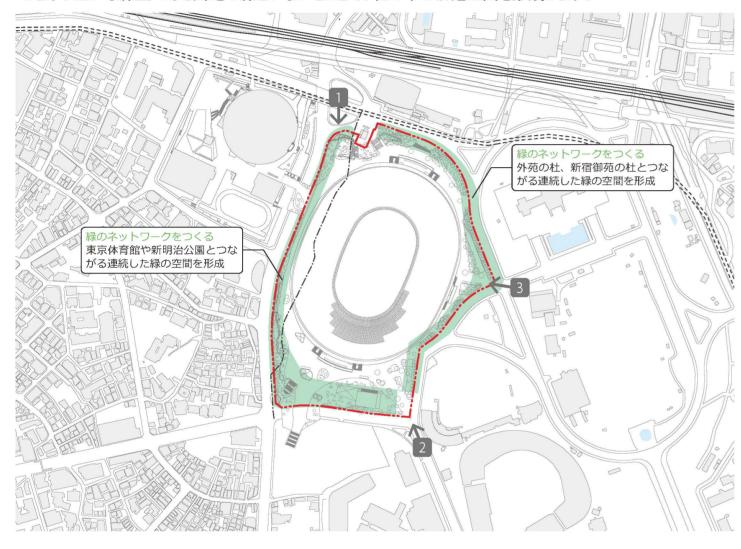
敷地東側歩道状空地アイレベルパース

| 17

周辺と調和する陰影とみどりのある外観-3

■ みどりとみどりが織りなす杜の中の沿道空間

敷地境界に配された豊かな緑と、その奥にある建物緑化された本計画建物が重層的なみどりの空間を創出します。豊かな緑量のある周辺の緑とつながることで、杜の中の沿道空間を形成します。



- ・積層された軒庇による陰影が、周囲の緑陰と調和します。
- ・柱梁の軸組みが表された抜け感のあるファサードが周辺への圧迫感を軽減します。
- ・空の杜への屋外階段や、建物を取り囲むコンコースにより、建物内のアクティビティが表出され、エリアの賑いを創出します。
- ・軒裏を自然素材である木ルーバーで覆うことで、周辺環境と調和し、庇から生み出される陰影が建物に様々な印象を与えます。





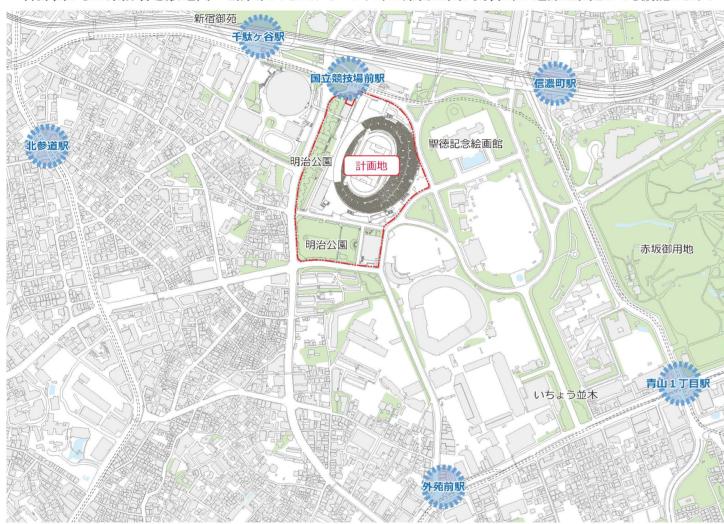


周辺とつながる、開かれた歩行者空間

■ 立体都市公園と歩道状空地の整備による歩行者ネットワークの拡充

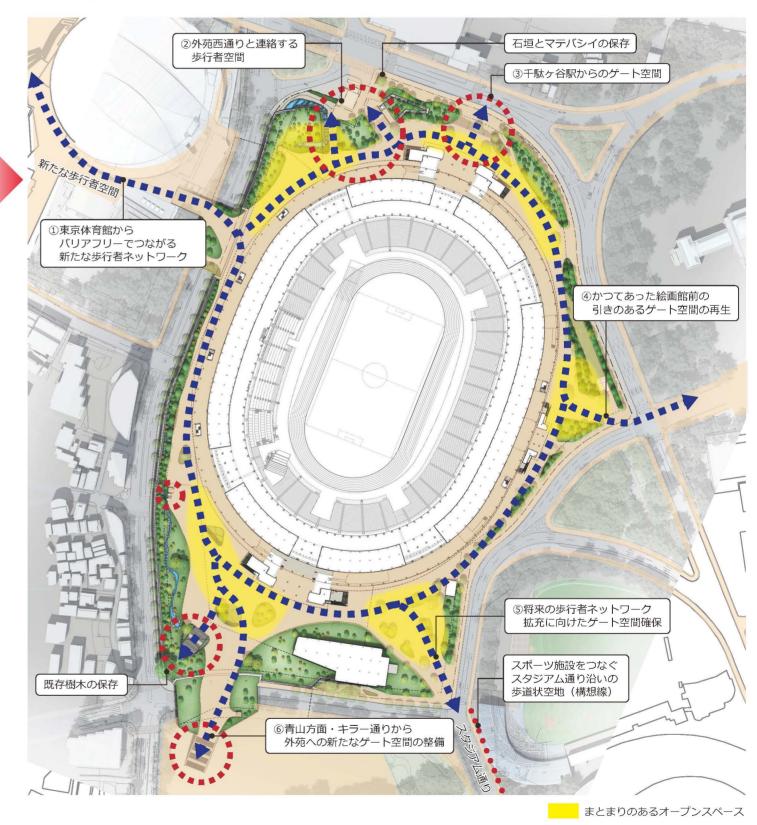
建物の周囲にはさまざまな性格をもつオープンスペースがつながりスタジアムを取り囲みます。

各方面からの来訪者を敷地内へと誘導し、また、イベント時の滞留空間、災害時の避難空間としても機能します。



歩道者デッキ1号、2号は、本計画の立体都市公園と一体的につながり、東京体育館方面、新明治公園方面からの来場者をスムーズにスタジアムへと導入します。

立体都市公園の整備と同時に歩行者デッキ1号、2号を整備します。立体都市公園、歩行者デッキ、歩道状空地が連携することで、周辺地区とバリアフリーにつながる歩行者ネットワークを創出します。



杜と杜をつなぐみどりのネットワークの形成

■ 周辺の公園空間とつながる地上の緑化と建物緑化

東京の誇る歴史的な緑の集積である神宮内苑から皇居への 緑地帯の中で、100年後を見据え、大地に根ざす「生命の大 樹」として市民に開かれたスタジアムを創ります。

■ 豊かな杜と里の風景を奏でる「大地の杜」

・計画地は神宮外苑の「杜」と市街地の「里」が接する場所に位置しており、「大地の杜」を3つのゾーンに区分します。

(A) 東・北側ゾーン - 深緑の杜

神宮外苑外周部の濃い緑に接する東・北側ゾーンは、高 木、亜高木、低木からなる立体的な樹林構成とし、建物に 対する緩衝帯となる周囲と連続する深い緑地とします。

(B) 南側ゾーン - 大樹の里庭

広いオープンスペースである南側ゾーンは、日本を代表 する大樹を大地に植え、大きなスケールの緑で人を迎え 入れる広場とします。

(C) 西側ゾーン - 水辺の里庭

街に面する西側ゾーンは、落葉樹や水辺を配して彩り豊かな里庭とし、自然と親しむ憩いの空間とします。

2 環境と対話し、周辺の景色を望む「空の杜」

- ・「大地の杜」と自由に行き来できる「空の杜」は気軽に散策でき、神宮外苑の森や都心の眺望を楽しめる開かれた空間とします。
- ・ススキや彩りある草花、花木を連続させ、計画地の原風景 のおおらかさを想起させる空中の庭園をつくります。

BI軒先緑化

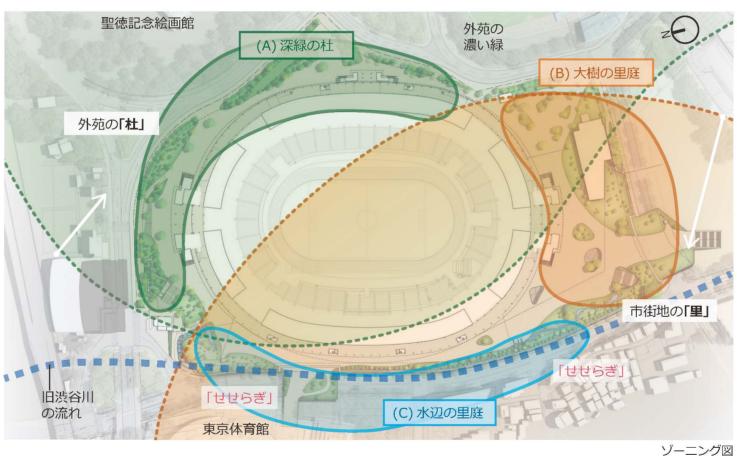
・周辺の神宮外苑の緑と建物を調和させる軒先の緑化。四季 折々の彩のプランター緑化とします。





緑のネットワーク

-2 空の杜





「大地の杜」、「空の杜」構想イメージ

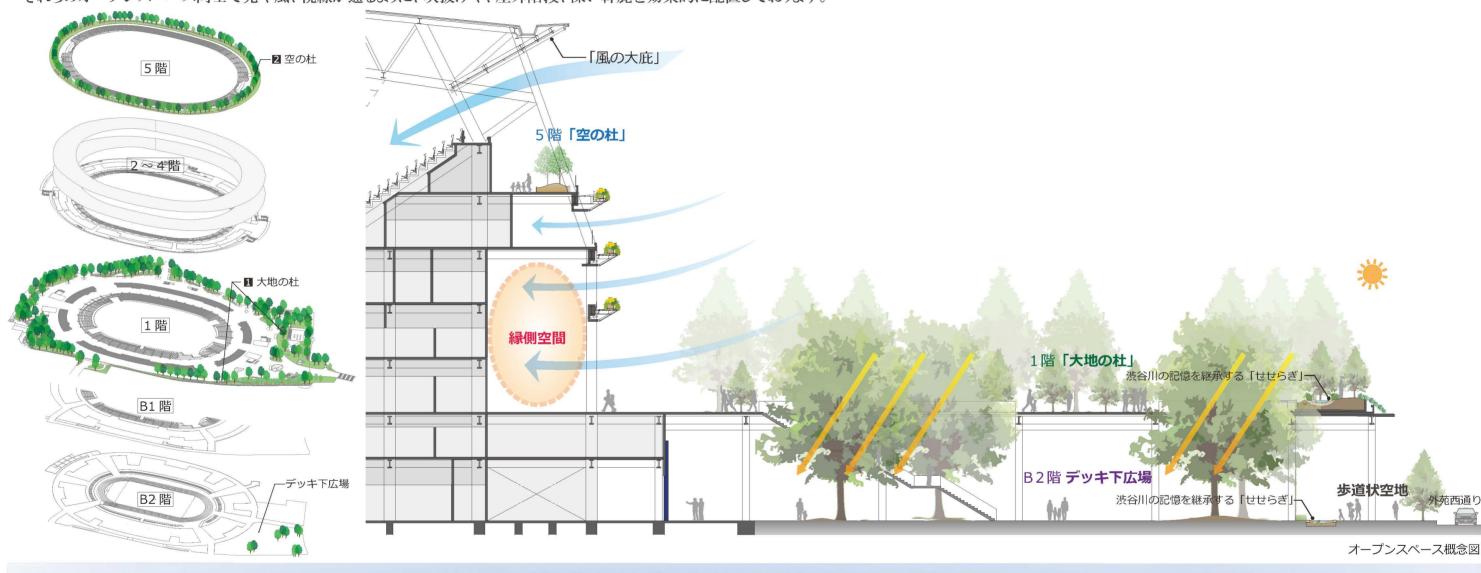
さまざまなつながりの生まれる施設計画

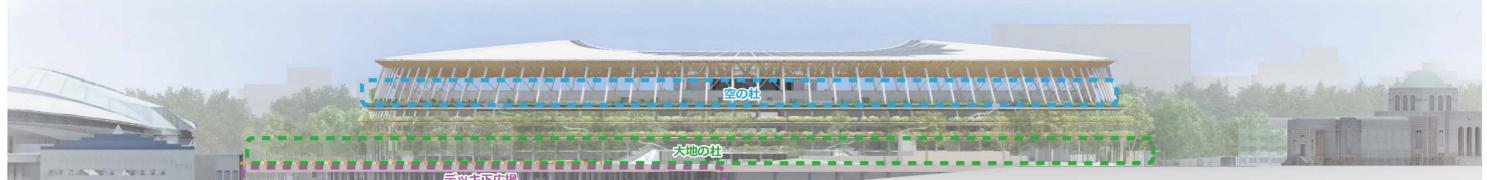
■ 敷地高低差を利用し、光と風が通う繋がりの生まれるスタジアム

本計画では、敷地の高低差や、建物形状を利用し、高さ方向にも様々なオープンスペースの創出を図っています。

立体都市公園下にあるB2階レベルのデッキ下広場、建物を取り囲む1階レベルの「大地の杜」、建物最上階をリング状に取り囲む「空の杜」が積層され配置されています。

それらのオープンスペース同士で光や風、視線が通るように、吹抜けや、屋外階段、深い軒庇を効果的に配置しております。

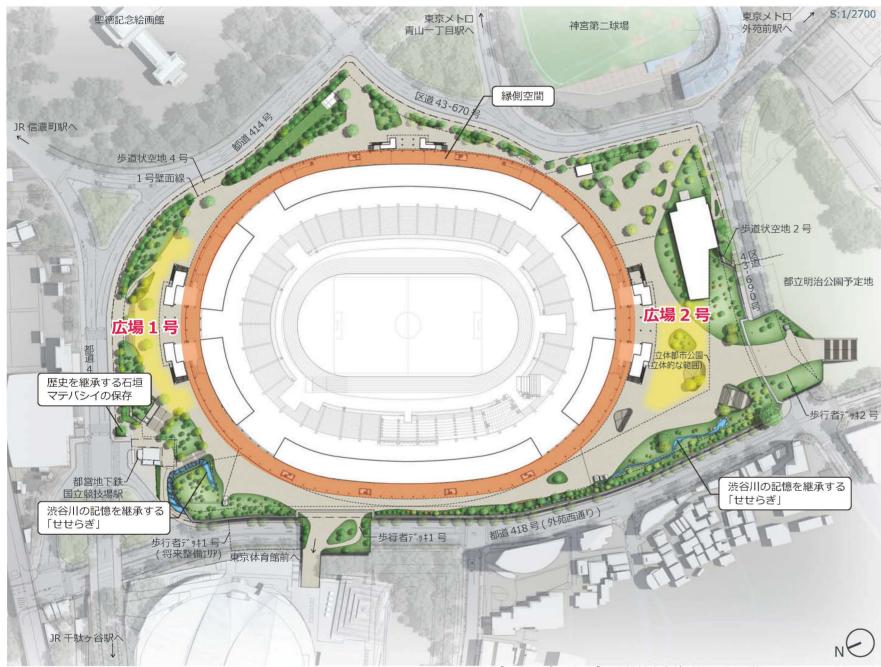




人々が集い、憩う開かれたスタジアム-1

■ 緑が重層的に連続する開かれた歩行者空間を創出

計画地の南北ペデストリアンデッキレベルにまとまった広場を設け、溜まりの空間とします。 来訪者の待合せ、休憩スペース、周辺住民の散策等、緑陰を活かした空間です。





都営地下鉄大江戸線の国立競技場A2出口に近接する広場1号は、施設への主要なアプローチ空間となるため、賑わいに資する広場 空間の活用を検討し、スポーツ文化活動拠点としての活性化を図ります。

立体都市公園と連続する広場2号は、みどりやせせらぎなど豊かな自然に親しむことのできる空間とします。ペデストリアンデッキの開口 部を介してB2階のデッキ下広場とつながり、平面方向のみでなく、重層的に視界の抜ける、快適な広場空間を創出します。



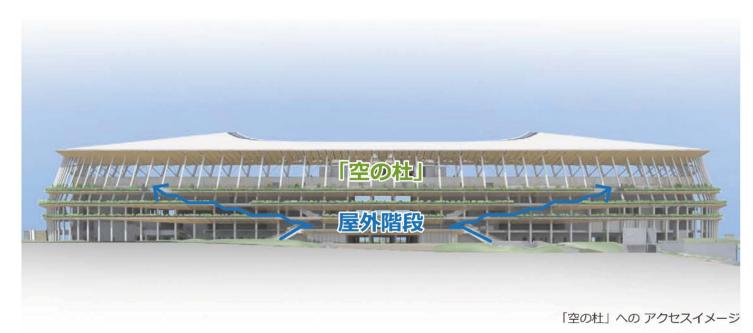


渋谷川の記憶を継承するせせらぎによる親水空間

人々が集い、憩う開かれたスタジアム-2

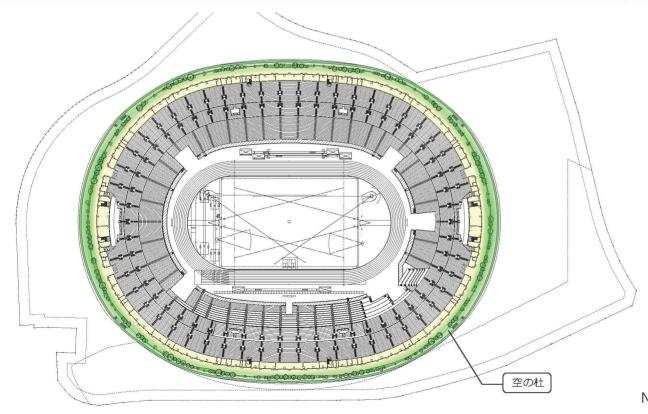
■ 四季折々の移り変わりを楽しめる「空の杜」

- ・スタジアム5階に回遊散策路である「空の杜」を整備します。「空の杜」は日常一般に開放され、1階の「大地の杜」から視認性の高い屋外階段および南北のエレベーターにより接続します。
- ・「空の杜」は季節感ある植栽による散策路とするとともに、神宮外苑のいちょう並木をはじめとした四季折々の 眺望を楽しむことができる計画とします。





「空の村」からの眺望



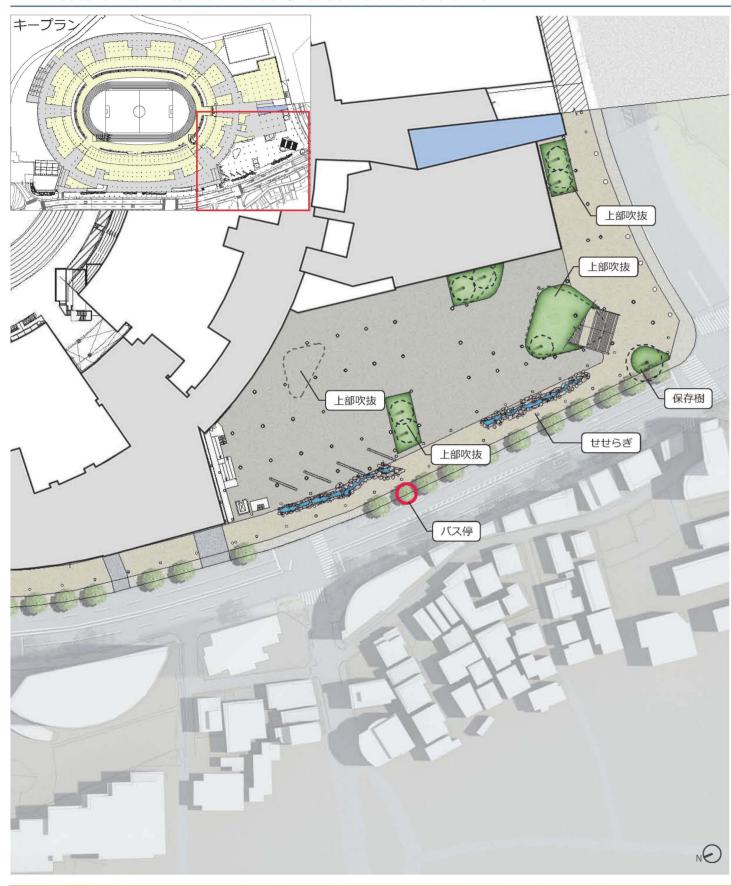




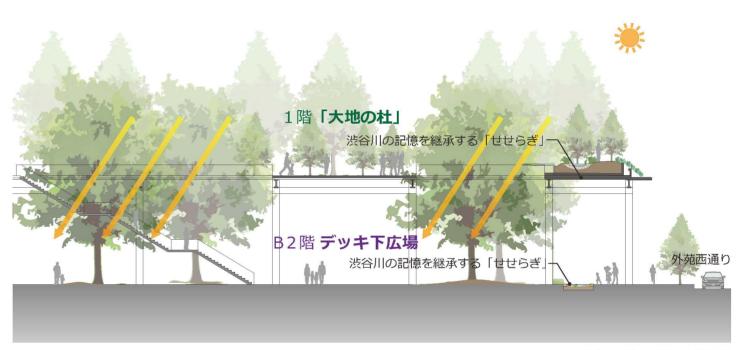
市民でにぎわう「空の杜」

人々が集い、憩う開かれたスタジアム-3

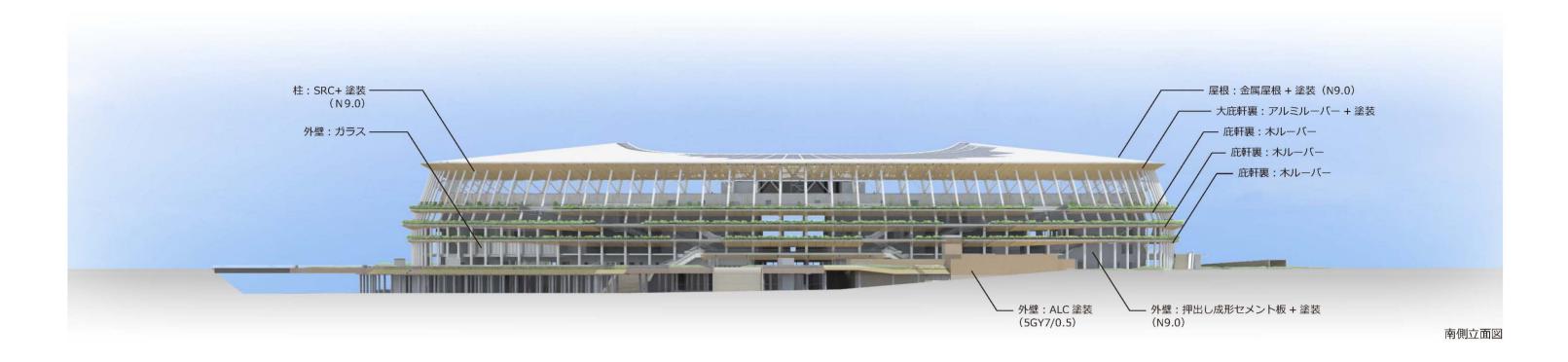
■ 立体都市公園に縦方向の広がりを与えるデッキ下広場

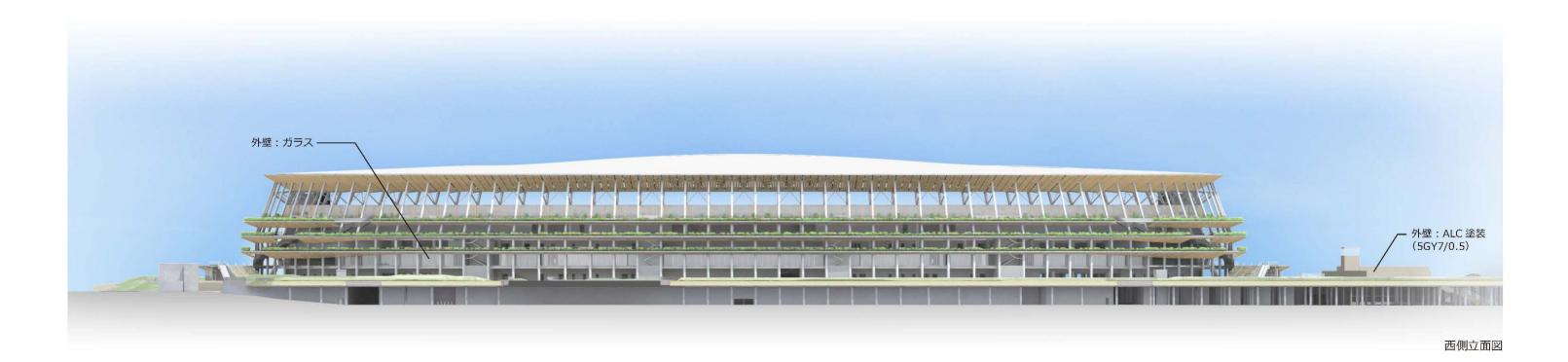


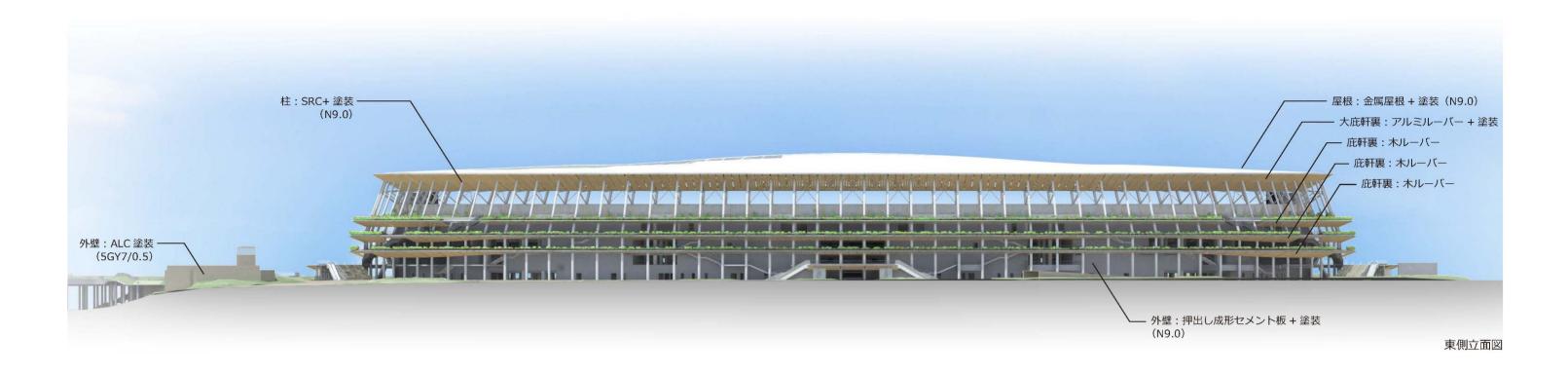
- ・デッキ下広場は計画地南西の周辺市街地との結節点にあり、外苑西通り側からの玄関口として、地域に開かれた広場空間を整備します。都営バスの停留場を隣接させ、視認性がよく人々がアクセスしやすい広場とします。
- ・上部ペデストリアンデッキに開口部を設け、開口部下には大地に根ざした高木を植栽します。開口部を介してペデストリアンデッキとゆるやかにつながり、木漏れ日の差し込む、印象に残る空間を創出します。

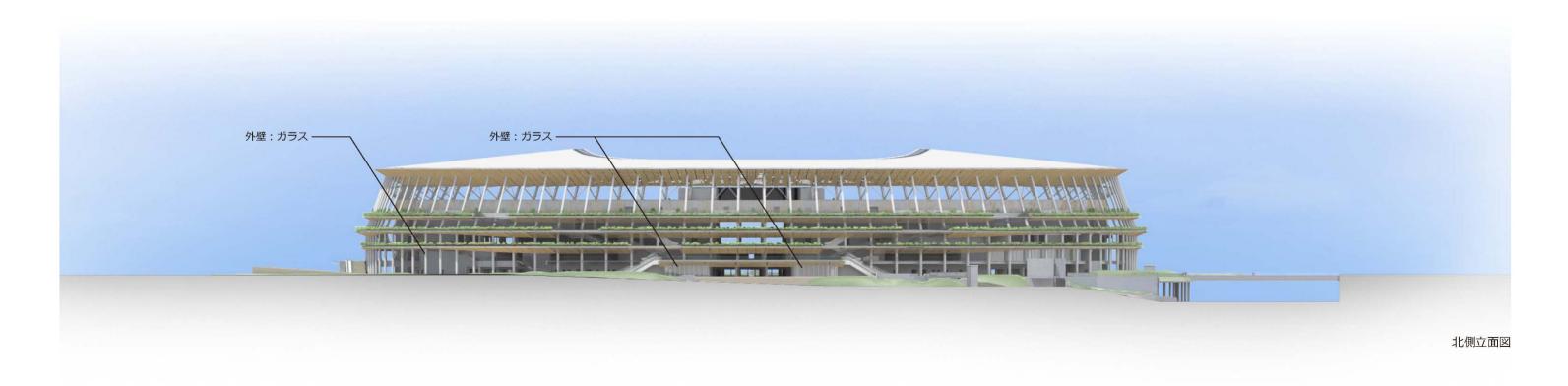


ペデストリアンデッキ断面図

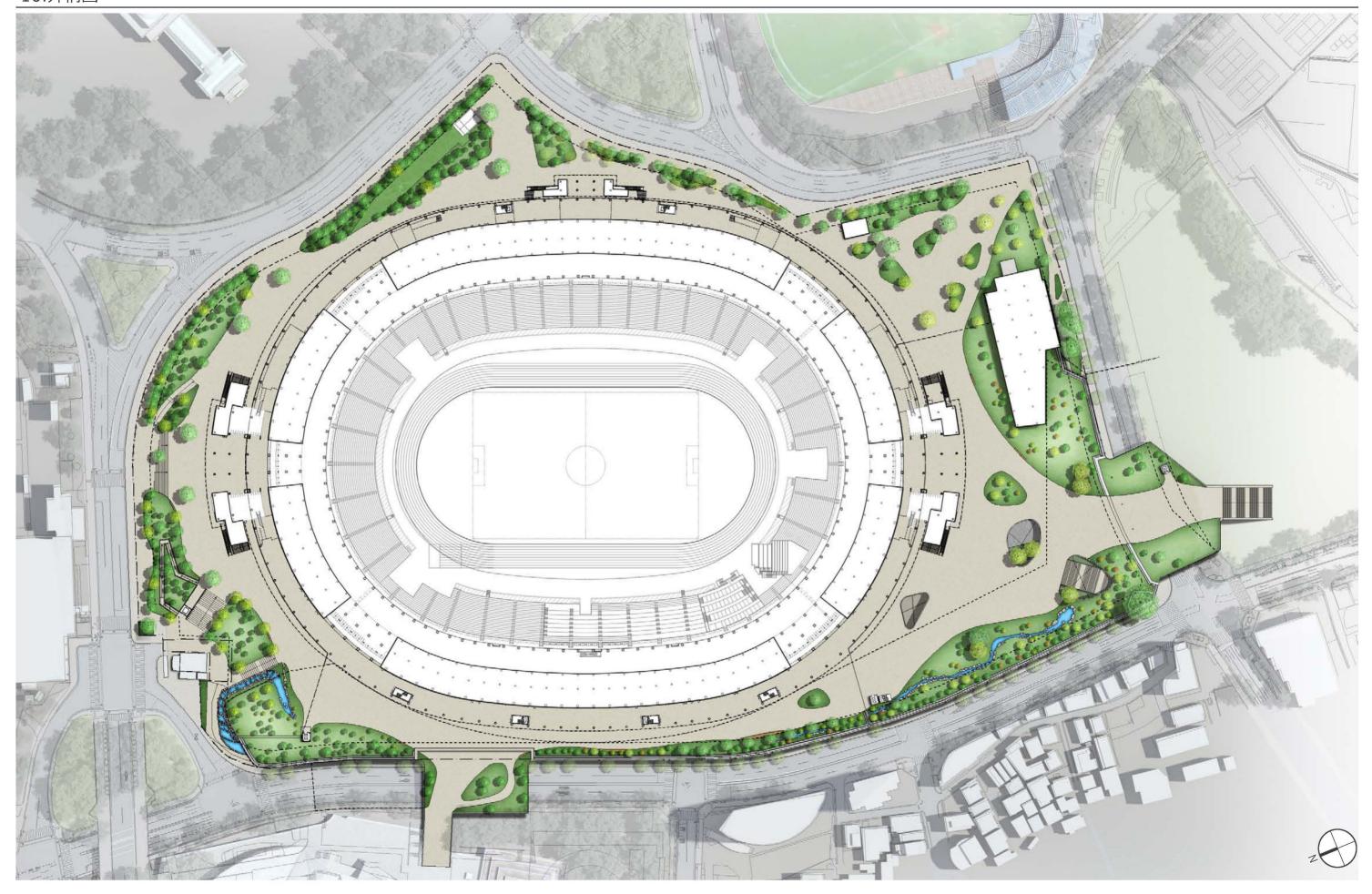


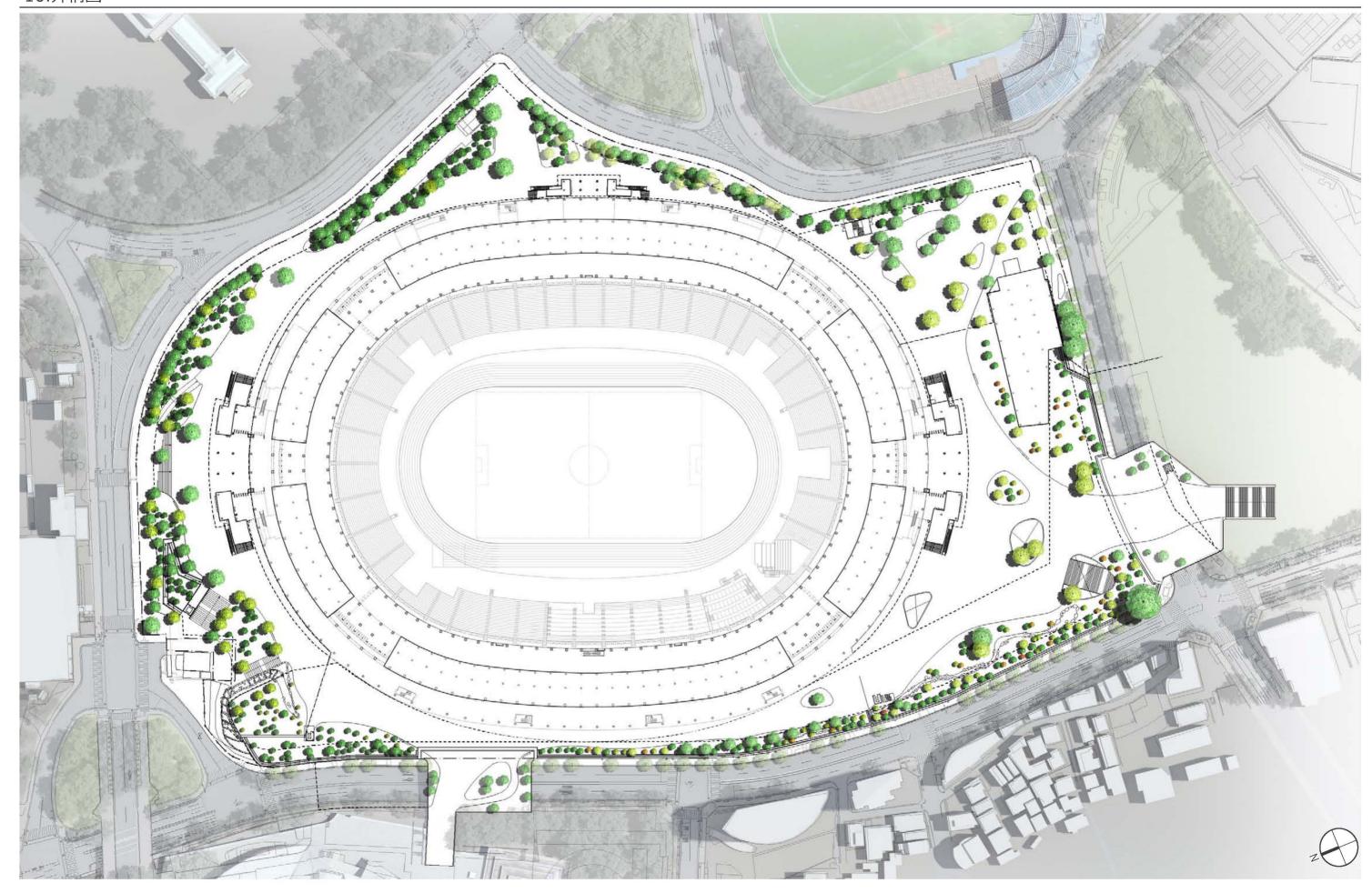




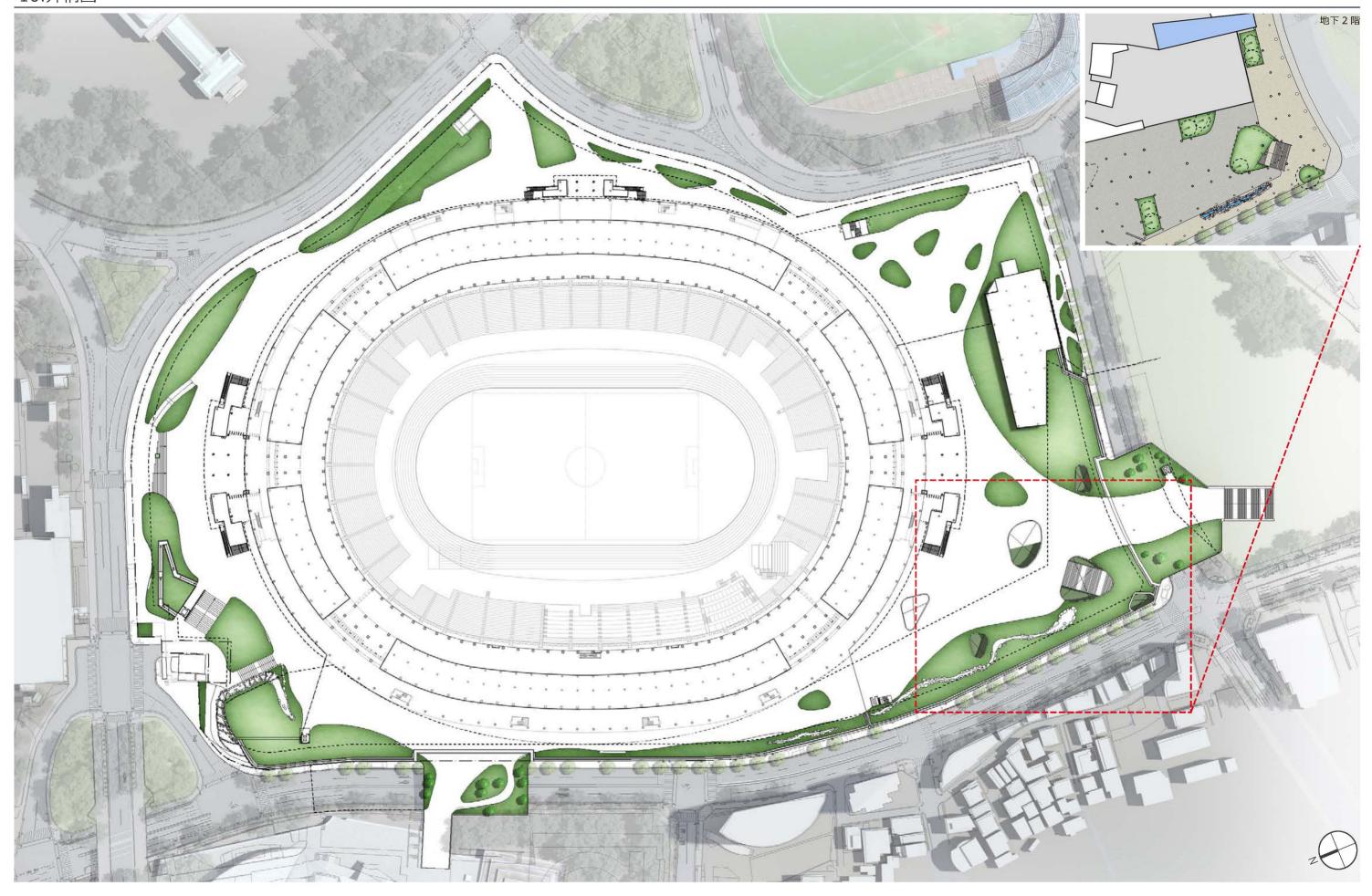


新国立競技場(仮称)整備事業 <u>立面図 S=1/1,200</u> 26





新国立競技場(仮称)整備事業 高木配置図 S=1/1,600 28



新国立競技場(仮称)整備事業 低木・地被・芝生配置図 S=1/1,600 29

緑化計画図

■ 東京都策定の上位計画

外苑の在来種を主体とした樹種を用い て統一感を持たせます。

また計画地に適した自然植生に配慮 し、3つのゾーンの空間の特徴に合わせ た緑化を行います。



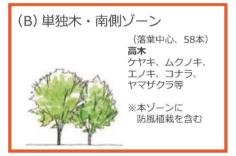
(A)東・北側ゾーン - 深緑の杜

神宮外苑の"持続的な森"を意識 し、スダジイなど計画地の潜在自 然植生(スダジイ-ヤブコウジ群集) の構成種を中止に落葉高木を組 み込みながら、常落混交の階層構 造をつくります。また次世代の主木 となる苗木もあらかじめ植え、森の 維持を図ります。



(B)南側ゾーン - 大樹の里庭

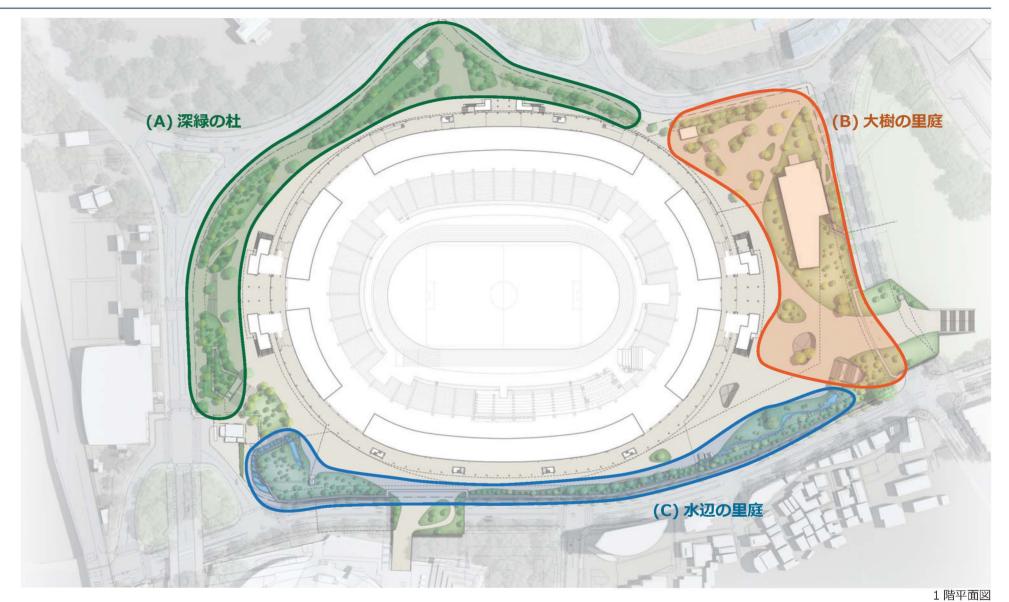
里の景観として、計画地の代償植 生(コナラ-クヌギ群集)の中から、 古来より日本で親しまれてきた大樹 (ケヤキ、ムクノキ、エノキなど)を 地植えし、大きく育てます。メインア プローチの一つとして目線の通る奥 行きのある空間をつくります。



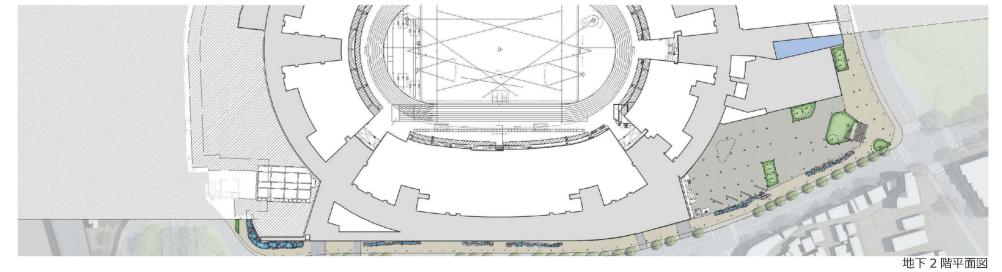
(C)西側ゾーン - 水辺の里庭

人工地盤上のため大木の植栽は 避け、モミジなどの落葉樹で四季を 演出し、ソヨゴなどの常緑樹で周辺 建物への視線を遮るよう配慮しま す。せせらぎ沿いはミソハギなどの 水生植物で彩りを添えます。

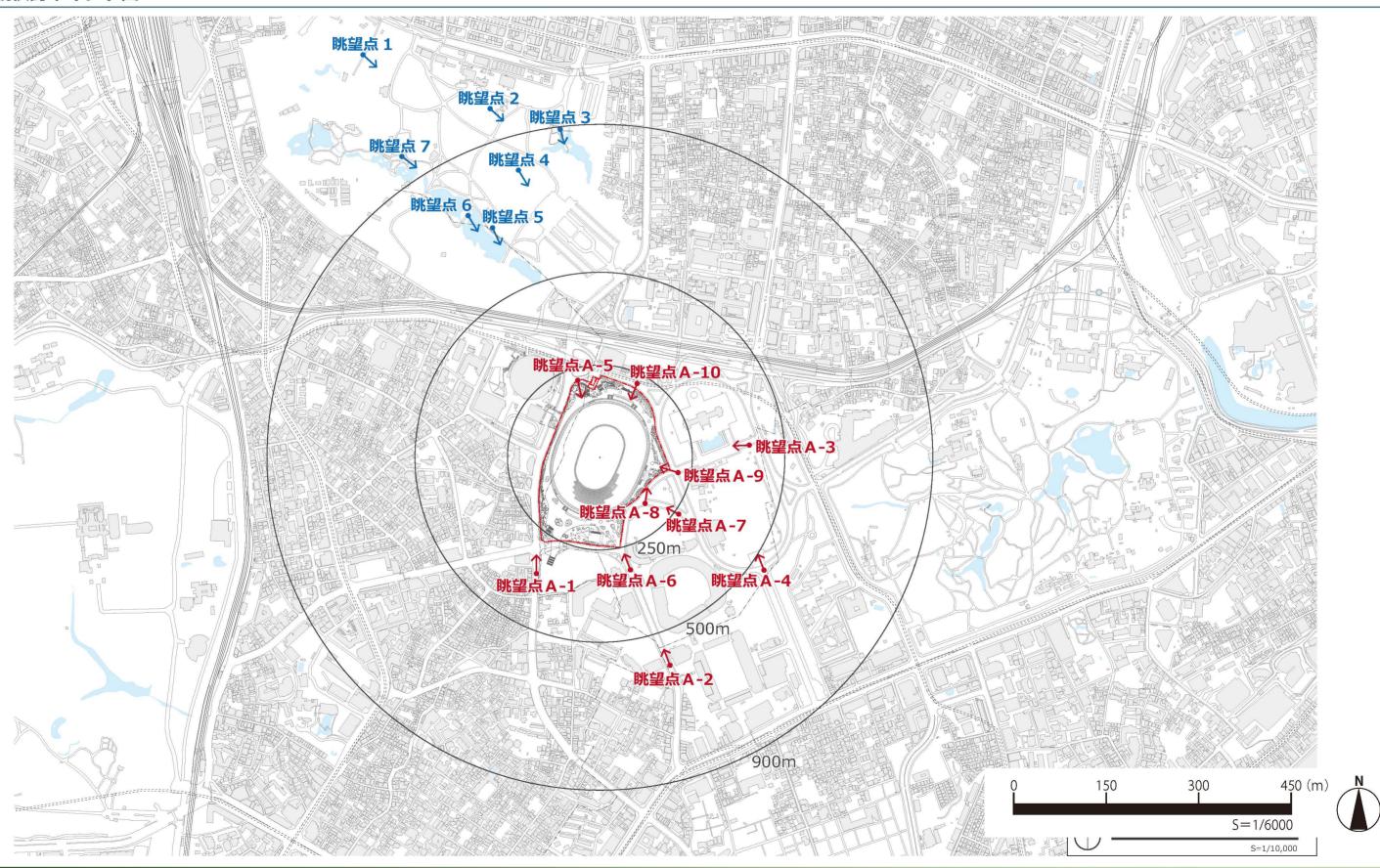




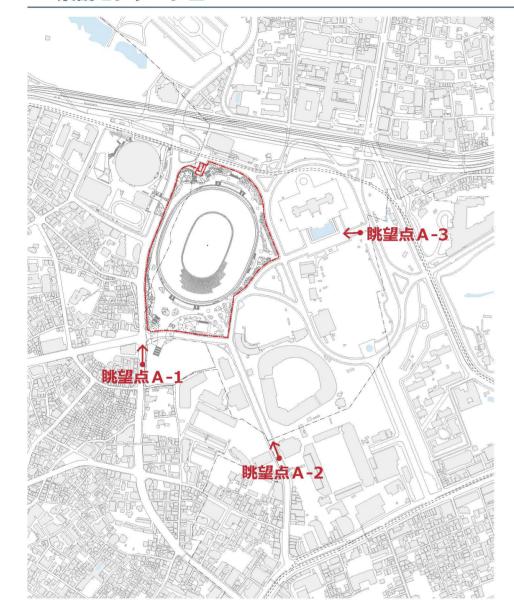




■ 景観検討ポイント図



■ 景観モンタージュ



旧 国立競技場時



眺望点A-2



眺望点A-3



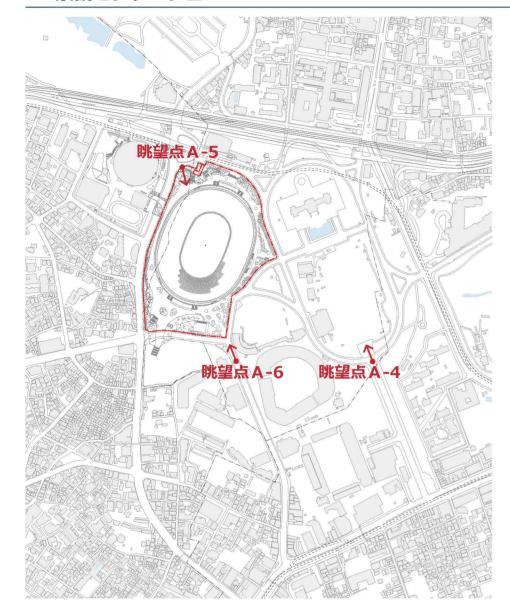
新 国立競技場を入れた予想図







■ 景観モンタージュ



旧 国立競技場時



眺望点A-5



眺望点A-6



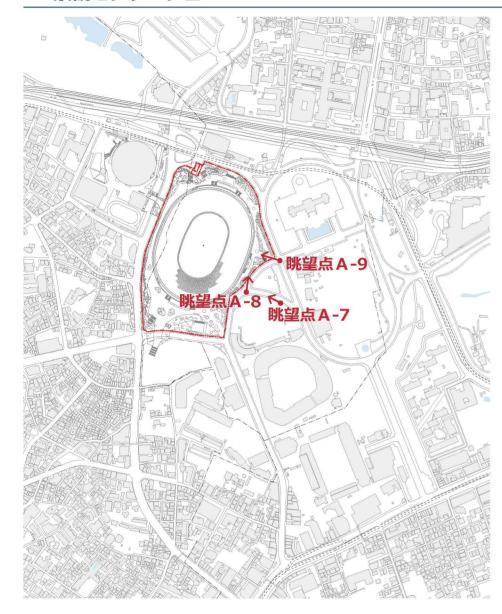
新 国立競技場を入れた予想図







■ 景観モンタージュ



旧 国立競技場時





眺望点A-9



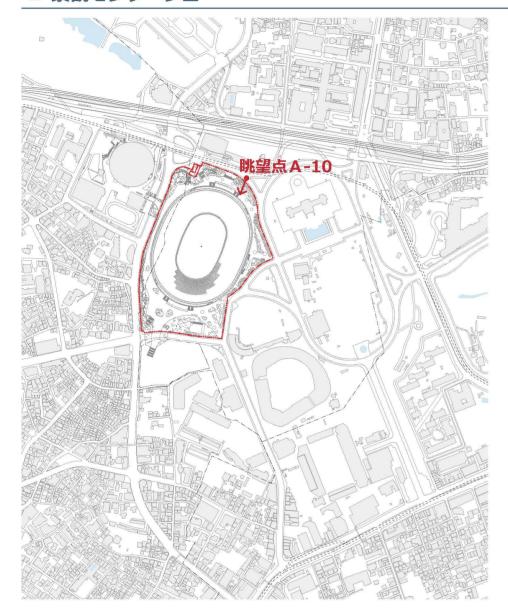
新 国立競技場を入れた予想図







■ 景観モンタージュ

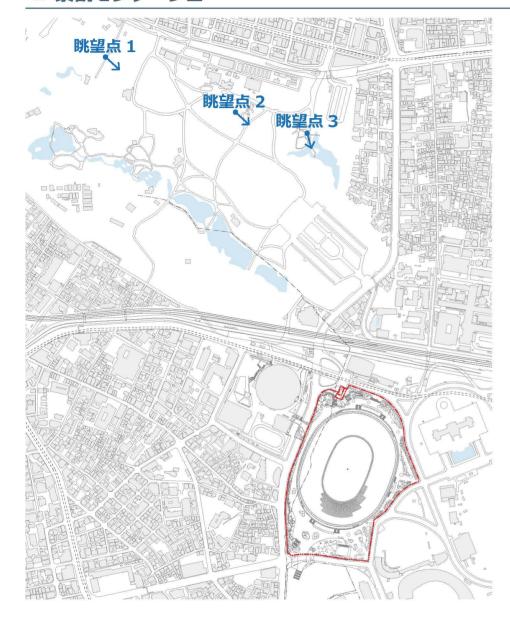




新 国立競技場を入れた予想図



■ 景観モンタージュ



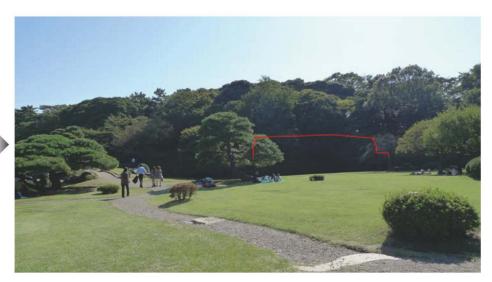




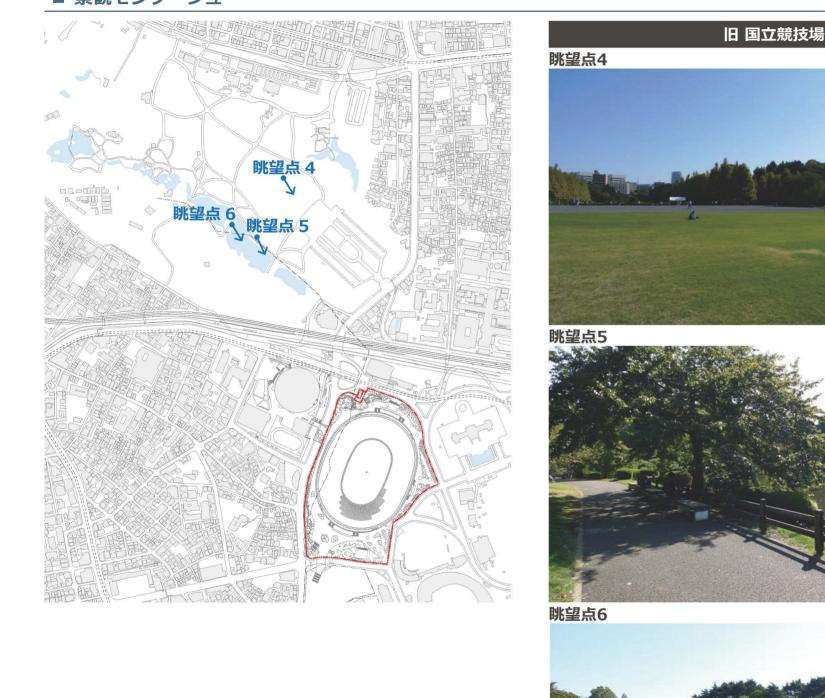








■ 景観モンタージュ

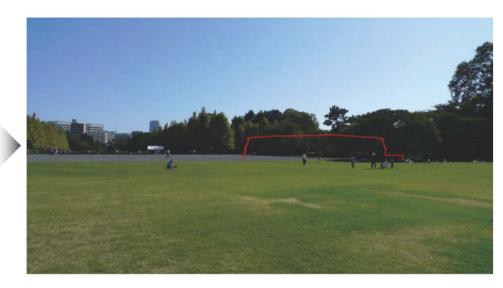




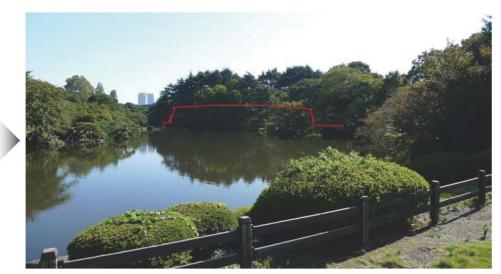












■ 景観モンタージュ

